

## 24年度予算案衆院通過 月内成立確定

2024年度予算案は2月の衆院予算委員会と本会議で、与党の賛成多数により可決され、衆院を通過した。憲法の衆院優越規定に基づき3月中の成立が確定した。採決日程を巡る与野党攻防が激化した結果、異例の土曜日の審議となつた。一般会計の歳出総額は

112兆5717億円で、23年度当初の114兆円に次ぐ過去2番目の巨額予算。審議の場は参院に移る。野党は自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件を巡り追及を続ける方針だ。**〔関連の面〕**

与野党は参院予算委で4、5両日に岸田文雄首相と全閣僚が出席する基本的質疑を実施する日程に合意。裏金事件に関しては参院政治倫理審査会が近く開催される方向で、衆院政倫審も新たな申し出があれば審査する。自民、立憲民主両党は4月以降に政治改革の在り方を議論する特別委員会を衆院に設置し、衆参の予算委で集中審議を実施すると確認した。

予算案は賛成多数で採決され、衆院を通過した。衆院は、過去最大の37兆7193億円に膨らんだ。防衛費も7兆9496億円で過去最大を更新した。予算案は賛成多数で採決され、衆院を通過した。衆院は、過去最大の37兆7193億円に膨らんだ。防衛費も7兆9496億円で過去最大を更新した。

が重点。能登半島地震を受け、災害対応などに充てられる一般予備費を5千億円から1兆円に倍増した。社会保障費は少子高齢化に伴い、過去最大の37兆7193億円に膨らんだ。防衛費も7兆9496億円で過去最大を更新した。

予算案は賛成多数で採決され、衆院を通過した。衆院は、過去最大の37兆7193億円に膨らんだ。防衛費も7兆9496億円で過去最大を更新した。